

21/3Q3 累計は 27.8%増収、経常黒字化で通期経常計画達成から今後再増額修正期待

株価円（1/28）2501 円 時価総額 70 億円 発行済株 2830 千株

PER（21/3DO 予 17.7X）PBR（0.76X） 配当（21/3 予）0 円 配当利回り：-

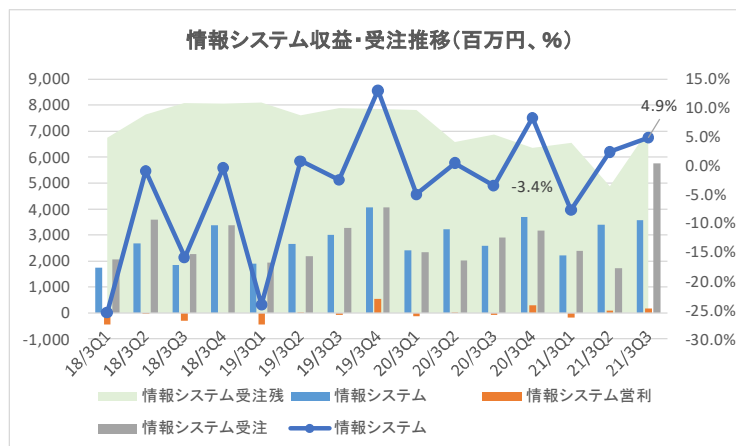
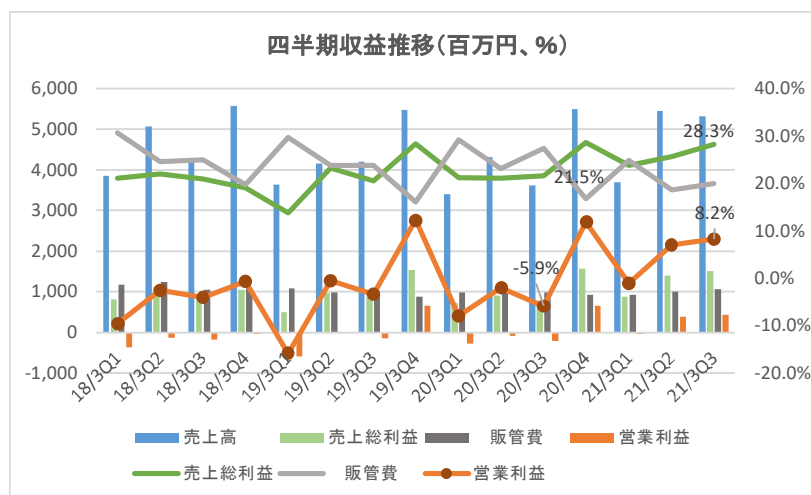
要約

- ・ 21/3Q3 累計は 27.8%増収、営利黒字化、受注 44.5%増とコロナ対策、5G 向けで収益上伸
- ・ 21/3Q3 累計で会社増額経常利益予想を達成、受注残も豊富で通期再増額修正期待膨らむ
- ・ 22/3 期は 5G、コロナ対策の拡大継続に加え、EV、車載関連も寄与し収益拡大続く
- ・ 株価は再増額含みの中でコロナ対策銘柄として昨年来高値 3280 円（PBR1 倍）目標

21/3Q3 累計は 27.8%増収、営利黒字化、受注 44.5%増とコロナ対策、5G 向けで収益上伸

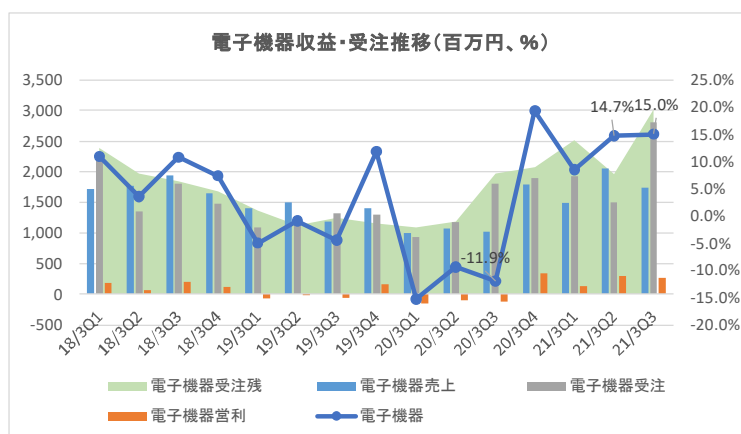
21/3Q3 決算が 1/28 に開示された。21/3Q3 累計業績は売上高 144.68 億円（27.8%増）、営利 7.80 億円（13.48 億円改善、黒字転換）、経常利益 7.13 億円（13.14 億円改善、黒字転換）、税引利益 6.28 億円（12.63 億円改善、黒字転換）、受注 160.96 億円（44.5%増）、受注残 100.66 億円（13.8%増）となった。四半期推移では Q1 は 8.9%増収、営業損失 0.4 億円（3.11 億円改善）、Q2 は 26.3%増収、営利 3.82 億円（4.67 億円改善、黒字転換）、Q3 が 47.3%増収、営利 4.38 億円（6.5 億円改善、黒字転換）と、勢いが増している。

Q3 のセグメント別では情報システムが売上高 35.82 億円（38.1%増）、営利 1.75 億円（2.64 億円改善、黒字転換）、受注 57.61



[ここに入力]

億円（99.2%増）、受注残 70.43 億円（2.5%増）。防衛庁の国内調達が低調な中で、NEC から独立し、NEC 競合企業等にも受注活動を展開した効果もあり受注が大幅増。利益面ではコスト・納期改善等で利益率改善を図り、増収効果もあり大幅な黒字

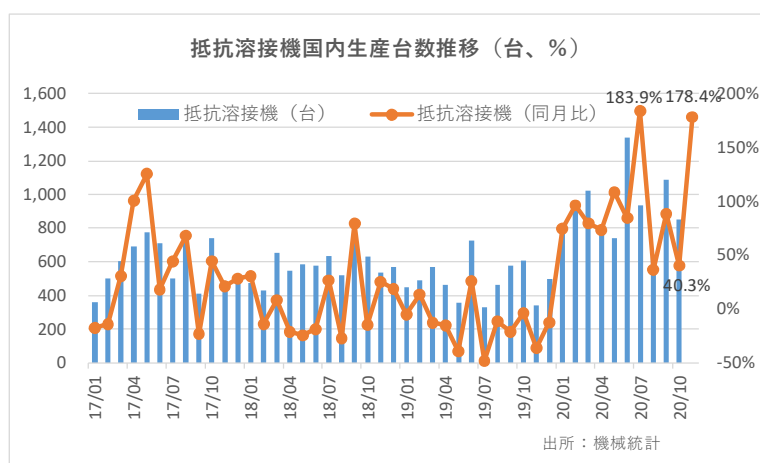


転換に。電子機器は売上高 17.42 億円（70.3%増） 営業 2.62 億円（3.84 億円改善、黒字転換）、受注 28.04 億円（55.7%増）、受注残 30.22 億円（53.3%増）に。主力の接合機器が海外の 5G 基地局関連向けに好調に推移、赤外線機器もコロナ感染対策需要で発熱者スクリーニングニーズが拡大した。電子機器全体で輸出が 6.51 億円（63.6%増）、国内も 10.91 億円（74.6%増）と内外とも増収となり、利益面では増収効果、コスト削減も進み、大幅な収益拡大となった。

21/3Q3 累計で会社増額経常利益予想を達成、受注残も豊富で通期再増額修正期待膨らむ

上期決算で収益好調から期初計画を上方修正したが、今回は予想を変更せず、売上高 190 億円（13.1%増）、営業 8 億円（9.6 倍）、経常利益 7 億円（28 倍）、税引利益は特別退職加算金等の費用を特別損失で見込み 2 億円（2.6 倍）を据え置いた。21/3Q3 累計で増額修正予想に対する進捗率は、売上面では 76.1%、営業利益では 98%、経常利益では既に 2%超過している。ちなみに逆算して Q4 は売上高 45.32 億円（17.3%減）、営業 0.2 億円（96.9%減）、経常損失 0.13 億円（赤字転落）、税引損失 4.28 億円（赤字転落）予想となる。

現状、コロナ第 3 波の来襲で感染拡大加速懸念が高まる中で、赤外線機器では発熱スクリーニング需要が継続、納入先として病院などに加え、ホテルや警察署の入退向けなどにも広がりを見せている。また監視カメラなどの連動でソリューションビジネスへの拡大も期待される。接合機器では 5G 関連が海外に加え、国内も基地局投資活発化から伸びが見込める。さらに防衛庁を中心とした情報システム部門は受注が大幅増となっており、通常、官公需売上が Q4



[ここに入力]

に集中する傾向から、Q4 では Q3 比大きく伸びると見られる。このため、増額修正予想に対し大きく上回る収益が見込まれる。なお、税引利益は特別損失計上を見込んでおり、営利増額でも前向きな損失計上を行うとみられるが、応募者数が未確定で損失額が確定しないとしているが、会社想定より多くの応募者が発生してもかなり増額修正分が残るとみられる。

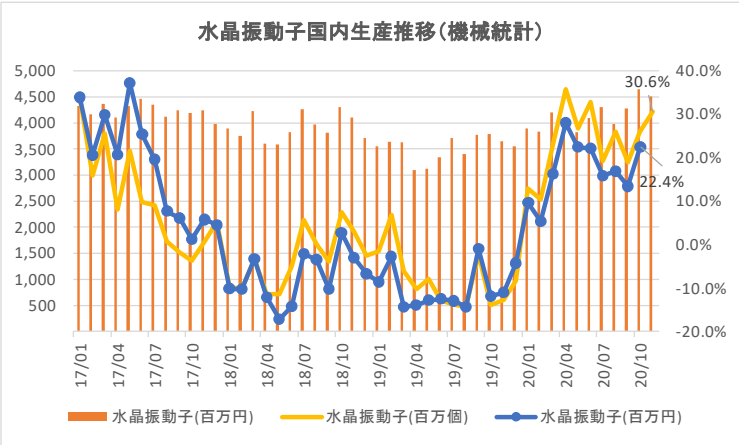
22/3 期は 5G、コロナ対策の拡大継続に加え、EV、車載関連も寄与し収益拡大続く

同社は接合 4 工法機器全 対 応 出 来 る 総 合 メ ー カ であるが、22/3 期は 5G 基 地 局 投 資 が 継 続、さらに 5G 端 末 では 水 晶 振 動 子 の 装 着 個 数 が 増 大、世界トップシ ョアのシーム 溶 接 接 合 機 の 需 要 拡 大 が 見

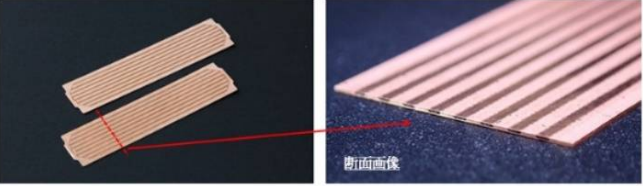
接合4工法機器のメーカ

	抵抗溶接	パルスヒート	レーザ	超音波
原理	母材の抵抗発熱による金属の溶接	抵抗発熱体による熱圧着、半田付	レーザ光による溶接、はんだ付け、溶着	摩擦発熱による樹脂溶着、酸化膜破壊による金属接合
金属	○		○	○
樹脂		○	○	○
はんだ	可(抵抗ロー付け)	○	○	可(高周波誘導加熱)
特長	・シンプルな構造 →装置が安価	・正確な温度プロファイル →仕上がり安定 ・急速昇温、冷却 →余分な熱を与えない	・非接触接合 →狭い所の接合が可能 ・消耗品が少ない →装置停止時間が少	・円形接合 →異種金属の接合が可能 ・一括接合 →タクトが速い
スマートフォンアプリケーション例	水晶デバイス 全周溶接 メイン基板	振動モータ コイル巻 はんだ付け	カメラレンズ レンズカバー レーザ溶接	オーディオ用スピーカ 樹脂ケース 超音波溶着 (ターゲティング)

込まれる。今後は自動車の自動運転に使用される LiDAR のミラーデバイスでもシーム封止が採用されるなど、更なる需要拡大が続こう。また 5G 端末では動画連続再生などで SoC 発熱量の拡大に対し放熱対策が重要で、ハイスペックスマホでヒートパイプに変えてベーパーチャンバ（板状の高性能放熱板）の採用が増えている。しかも銅箔の薄膜化（0.25mm から 0.2mm への流れ）と高精度



ベーパーチャンバ（中空構造で流路配置された放熱板）



[ここに入力]

の気密封止が要求され、同社の超音波金属接合の採用が増えている。加えて EV/HEV 向けには軽量化に向けてアルミワイヤハーネス製造時の銅・アルミ異種接合向け、バッテリーパックの接合などの需要拡大も見込める。さらに異種金属だけでなく熱可塑性 CFRP とアルミニウム合金を締結部品や接着剤を使わず直接接合する異種材接合技術を開発。これまで金属と熱硬化性 CFRP の接合では、接着剤やボルト等の機械的な接合が主流で接合強度が弱い欠点があり、これを克服でき小型情報機器や小型精密部品の分野で精密接合採用が期待される。

医療では赤外線サーモグラフィの品揃えを強化、また温度を監視して問題解決する感染症対策ソリューションビジネスへの拡大を加速させる。このため 1 月にはヘルスケア事業推進室を新設、全社横断で新たなヘルスケア事業創出を目指す事とした。情報システムは防衛省の新バジシステム（自動警戒管制組織）において国産品に対する防衛予算の減少が継続している中で、NEC 向けに加え、富士通向け等にも納入を拡大させている。また昨今、宇宙関連ビジネスの拡大が注目されているが、同社は宇宙用 POL DC/DC コンバータやコマンドドライバなど、JAXA 認定品も数多く有しており、長期的に同分野での拡大も期待される。

航空・宇宙用製品 ・ JAXA 認定品

宇宙用 POL DC/DC コンバータ コマンドドライバ



全体を通じ、足元は電子機器の事業拡大で 22/3 期も増収増益を確保、税引利益は特損一巡で正常化し大幅増となろう。また中長期ではヘルスケアや宇宙関連ビジネスでの事業拡大も見込まれ、今後の企業変革に期待がかかる。

株価は再増額含みの中でコロナ対策銘柄として昨年来高値 3280 円（PBR1 倍）目標

株価は 21/3 期業績発表で増益予想となり昨年 6/4 に高値 3280 円を付けたが、その後は蚊帳の外の状況で、10/29 の増額修正発表でも税引利益が変わらず無反応で推移した。会社予想 EPS70.82 円で PER35.3 倍は電機平均 PER36 倍に対し割安感はない。しかし特損を除けば EPS166 円水準であり、実質 PER15.0 倍は割安感があり、しかも Q3 累計で会社計画経常利益を上回り、再増額見通しにある。なお同社は第 1 種（80 万株）、第 2 種（150 万株）優先株式について、7 月末に 57000 株を取得し消却を実施、今後 5 年をかけて消却する意向で、流通株の増加にはならない見通し。22/3 期は増収、営利増が見込まれ、特損一巡で税引利益は大幅増となり、EPS も 318 円程度が見込まれ、当面、昨年来高値 3280 円を目指す動きとなろう。また 5G 関連、コロナ対策関連で収益拡大が見込め、関連銘柄との認識が高まれば、2017 年の 4000 円も視野に入ろう。

[ここに入力]

日本アビオニクス(6946)								(百万円、円)			
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
19/3期	17,460	-6.7%	-70 赤小		-105 赤小		22	-96.4%	7.830	0.00	
20/3Q1	3,397	-6.7%	-271 赤大		-282 赤大		-294 赤小		-104.31	0.00	
20/3Q2	4,311	3.8%	-85 赤大		-94 赤大		-103 赤大		-35.7	0.00	
20/3Q3	3,616	-13.9%	-212 赤大		-225 赤大		-238 赤小		-84.44	0.00	
20/3Q4	5,481	0.2%	651	-2.5%	626	-8.7%	711	-36.7%	251.55	0.00	
20/3H1	7,708	-1.1%	-356 赤小		-376 赤小		-397 赤小		-140.01	0.00	
20/3H2	9,097	-5.9%	439	-16.7%	401	-23.0%	473	-42.7%	167.11	0.00	
20/3期	16,805	-3.8%	83	-218.6%	25	-123.8%	76	245.5%	27.1	0.00	
21/3Q1	3,699	8.9%	-40 赤小		-84 赤小		-174 赤小		-61.74	0.00	
21/3Q2	5,444	26.3%	382 黒転		369 黒転		497 黒転		176.28	0.00	
21/3Q3	5,325	47.3%	438 黒転		428 黒転		305 黒転		107.87	0.00	
21/3Q4会予(1/28)	4,532	-17.3%	20	-96.9%	-13 赤転		-428 赤転		-151.59	0.00	
21/3H1	9,143	18.6%	342	-196.1%	285	-175.8%	323	-181.4%	114.54	0.00	
21/3H2会予(10/29)	9,857	8.4%	458	4.3%	415	3.5%	-123 赤転		-43.72	0.00	
21/3期期初会予	18,000	7.1%	350	321.7%	280	1020.0%	200	163.2%	70.82	0.00	
21/3期修正会予(10/29)	19,000	13.1%	800	859.3%	700	2700.0%	200	163.2%	70.82	0.00	
21/3Q4DO予(1/28)	5,532	0.9%	420	-35.5%	387	-38.2%	-228	-132.1%	-81.04	0.00	
21/3H2DO予(1/28)	10,857	19.3%	858	95.4%	815	103.2%	77	-83.7%	27.27	0.00	
21/3期DO前回予	19,000	13.1%	900	984.3%	800	3100.0%	200	163.2%	70.82	0.00	
21/3期DO予(1/28)	20,000	19.0%	1,200	1345.8%	1,100	4300.0%	400	426.3%	141.64	0.00	
22/3期DO予(1/28)	21,000	5.0%	1,400	16.7%	1,300	18.2%	900	125.0%	318.69	10.00	
23/3期DO予(1/28)	22,800	8.6%	1,650	17.9%	1,550	19.2%	1,070	18.9%	378.89	12.00	

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 期初会 予	21/3期修 正会予 (10/19)	21/3期D O旧予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期D O予
売上高	21,442	18,707	17,460	16,805	18,000	19,000	19,000	20,000	21,000	22,800
営業利益	20	-709	-70	83	350	800	950	1,200	1,400	1,650
経常利益	-60	-764	-105	25	280	700	850	1,100	1,300	1,550
親株主帰属純利益	1,510	606	22	76	200	200	200	400	900	1,070
製品別売上情報	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 期初会 予	21/3期修 正会予 (10/19)	21/3期D O旧予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期D O予
情報システム	12,149	9,674	11,641	11,920	11,900	11,900	11,900	12,800	13,000	13,300
電子機器	6,630	7,075	5,499	4,884	6,100	7,100	7,100	7,200	8,000	9,500
プリント配線板	2,662	1,957	329							
売上合計	21,442	18,707	17,460	16,805	18,000	19,000	19,000	20,000	21,000	22,800
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 期初会 予	21/3期修 正会予 (10/19)	21/3期D O旧予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期D O予
情報システム	45	-774	20	113	110	110	110	200	250	300
電子機器	506	582	30	-29	240	690	790	1,000	1,150	1,350
プリント配線板	-532	-516	-122							
営業利益	20	-709	-70	83	350	800	900	1,200	1,400	1,650
	0	0	0	0						
年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 期初会 予	21/3期修 正会予 (10/19)	21/3期D O旧予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期D O予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
営業利益	0.1%	-3.8%	-0.4%	0.5%	1.9%	4.2%	5.0%	6.0%	6.7%	7.2%
経常利益	-0.3%	-4.1%	-0.6%	0.1%	1.6%	3.7%	4.5%	5.5%	6.2%	6.8%
親株主帰属純利益	7.0%	3.2%	0.1%	0.5%	1.1%	1.1%	1.1%	2.0%	4.3%	4.7%
セグメント営業利益率	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 期初会 予	21/3期修 正会予 (10/19)	21/3期D O旧予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期D O予
情報システム	0.4%	-8.0%	0.2%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.6%	1.9%	2.3%
電子機器	7.6%	8.2%	0.5%	-0.6%	3.9%	9.7%	11.1%	13.9%	14.4%	14.2%
プリント配線板	-20.0%	-26.4%	-37.1%							
営業利益	0.1%	-3.8%	-0.4%	0.5%	1.9%	4.2%	5.0%	6.0%	6.7%	7.2%

[ここに入力]



[ここに入力]